

令和 8 年（2026 年）3 月 22 日
教育委員会事務局内 学校施設管理課

3 月 22 日（日）開催 第 1 回意見交換会（小曾根小・高川小・豊南小・十二中）議事録について

開催日時：令和 8 年（2026 年）3 月 22 日（日）15 時～16 時 15 分

開催場所：第十二中学校 体育館（豊中市浜 2-14-1）

意見の概要と市の返答

No.	意見の概要	市の返答
1	各小学校を建て替えてほしい。また十二中学校区を残してほしい。今回の説明内容は審議会で審議されていないが何を根拠に提示したのですか。	審議会に諮る前に地域との対話をしながら検討を進めたいと考えています。今後、検討した内容は必要に応じて学校教育審議会の場で審議していく予定です。
2	豊南小の単独建て替えと小中一貫校建設の費用比較はどれくらいですか。	小中一貫校については、条件により建設費用が変わるため、現時点での費用比較は困難です。
3	高川小の児童数が少ないから建て替えるのですか。	高川小は、豊南小の近隣校であることから、同時期の建て替えの可能性を検討しています。
4	小学校単位の地域自治のため、防災・コミュニティ機能を含む施設を建て替えてほしいです。	どの手法を採用した場合でも、避難所や地域コミュニティ機能が小学校区単位で失われることは想定しておりません。

5	当初の想定スケジュールにあった高川小・豊南小の統合が白紙撤回された際の意見は何でしたか。	通学路の問題や歴史的背景などの意見がありました。寄せられたご意見を踏まえ、市として検討した結果、当初の想定スケジュールについては採用しないこととしました。
6	豊南小は老朽化しており不安です。早急に対応してほしいです。	豊南小の老朽化について、点検や改修は順次実施しているところですが、基本的には築後 80 年までの建て替えを実施できるよう、地域との対話を重ねた上で、建て替え手法の確定等の必要事項の検討を進めてまいります。
7	小中一貫教育における分割校の課題とは何ですか。	一つの小学校から複数の中学校に進学することによって、小中一貫教育がめざす指導の一貫性の確保等が難しくなることが課題であると認識しています。なお、十二中校区については該当しておりません。
8	(学校が廃校になった場合、)グラウンドなどの地域利用は、今後どうなりますか。	跡地活用については地域と対話しながら進めてまいります。避難所やコミュニティ拠点として残したいという意見は多く、従来規模のグラウンド確保は難しくなる可能性があるものの、地域の方が集まれる場所づくりができるよう検討いたします。
9	80 年使用は絶対なのですか。	基本的に築後 80 年までに建て替えを行えるような運用をめざしております。

10	「近隣の学校とセット」とはどのような意味ですか。また、意見交換の期限はいつですか。	「近隣」とは立地関係を指しており、特定の学校の組み合わせを意味するものではありません。また、意見交換の期限については、令和 9 年度の夏頃までを一定の基準に検討を進めております。
11	学校規模拡大や中一ギャップ解消の説明に納得できません。	小規模校ではクラス替えができない場合があります。学校として一定の規模を確保し、多様な人間関係を形成することで社会的な自立に向けた教育活動の充実を図っていきたいと考えています。また、小学校から中学校段階への進級時のつまずきや不登校といった課題に対応する必要があり、小中一貫教育を通じて小学校と中学校が連携し、児童生徒の発達に合わせた指導を行う必要があると考えています。
12	統合すると学級数が減少し、1 クラスの人数が増えて教員の負担が増えるのではないですか。	教員数は法令で定められており、学級人数は最大 35 人です。再編した場合においても、学級人数の上限は変わりません。